

# 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02070101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	親子で空中散歩リフレッシュ事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ
		作成責任者職氏名	課長 尾谷義彦
		内線	340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	02健康・福祉	07子育て支援の推進	01地域における子育て支援
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度～年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村の自然豊かな社会資源を活用し身近で気軽に遊べる「府民の森ちはや園地」の利用を活用することにより、子どもには遊び場の提供や心身の健全な成長を寄与し、親には日頃の育児疲れのリフレッシュなど、親子の絆を深める。</p> <p>②内容</p> <p>村内在住の小学生以下の児童のいる家庭に「村営金剛山ロープウェイ」の往復乗車券引換券を支給。 (1世帯 大人2枚及び子ども的人数分)</p>	<p>村内在住の小学生以下の児童及びその保護者</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び場の提供</li> <li>・心身の健全な育成</li> <li>・育児疲れのリフレッシュ</li> <li>・親子の絆を深める</li> <li>・金剛山ロープウェイ利用客の増(収入増)</li> <li>・おおさか府民の森ちはや園地利用者の増</li> </ul>	<p>大阪府地域福祉・子育て支援交付金の活用 (交付金廃止の場合、事業の継続が可能か)</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	22年度実績	23年度		24年度事業費(見込)	25年度事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	950	222	320	320			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金	950	222	320	320			
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源								
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.05	0.05	0.05	0.05			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	311	311	311			
総コスト費(千円)(A+C)	0	1,261	533	631	631			
人口あたりコスト(円)	0	205	86	102	102			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23年度			24年度目標値	25年度目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	ロープウェイ利用券交付枚数	枚	1,150	949	83%	950	950
②	目標指標	利用者数	人	900	254	28%	300	300
③	目標指標							

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	事業の目的が、第4次千早赤阪村総合計画第1期実行計画の子育て支援の推進に貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	2 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	利用者数が少なく、村民ニーズに的確に応えられていない。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	大阪府地域福祉・子育て支援交付金を活用(100%)
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	小学生以下の児童及びその保護者が無料で利用できる。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) 11 / 16 69% (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
55%	69%	62%	C
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	C ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
利用者を拡大するため周知方法等を検討する。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
当該事業は、平成23年度から子育て支援策の一環として実施している。しかし、実施後の子育て家庭利用者数は、利用券対象者の約3割弱程度しか達しておらず、村民ニーズとして有効性は十分とは言えない。 当然ながら利用促進のためのPRなども必要と考えるが、子育て家庭のニーズが低いとなれば、事業の見直し又は廃止せざるを得ないとする。よって利用者促進の努力をしつつ、平成24年度実績を踏まえ、ニーズがないと判断した段階で廃止とする。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
・大阪府の交付金を活用する食欲さがほしい。子育て支援でも多様な形や事業の仕組みが考えられる。 ・学生やNPOなどの知恵を引き出す能力をつくるための資源の一部として考えても良い。 ・今年度の集客実績を見ながら来年度以降の交付金の活用の仕方を引き続き検討し、今後の展開につなげてほしい。 ・保育園や小学校の保護者会など(既存グループ)、学生ボランティアなど(新しく作るグループ)、何かグループ単位で活動できるように工夫しないと 不安感を持つ親子や子育ての人が積極的に参加することは少ないと思う。 ・現状のままでも利用者増加を検討し、それでも増えない場合は廃止するしかない。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
当該事業は、平成23年度から子育て支援策の一環として実施している。しかし、実施後の子育て家庭利用者数は、利用券対象者の約3割弱程度しか達しておらず、村民ニーズとして有効性は十分とは言えない。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し

当然ながら利用促進のためのPRなども必要と考えるが、子育て家庭のニーズが低いとなれば、事業の見直し又は廃止せざるを得ないとする。よって利用者促進の努力をしつつ、平成24年度実績を踏まえ、ニーズがないと判断した段階で廃止とする。

〃  
D: 縮小  
E: 休止・廃止